

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、平成29年度日本陸連競技規則並びに本大会競技注意事項により行う。
2. 選手受付時刻は、プログラムに記載された競技開始時刻のトラック競技は15分前まで、フィールド競技は30分前までに完了し最終点呼後は、選手受付所から離れないこと。（棒高跳は40分前）
3. 選手は、その競技をする以外はトラック・フィールドに立ち入ることは出来ない。
4. 選手の競技場への誘導は、必ず係員の指示によること。
5. 受付時刻に遅れた者は、原則として棄権とみなす。（棄権の場合も申し出ること）
6. トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載されたとおりとする。
7. 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は、次のとおりとする。

〔走高跳〕

区 分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
男子	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	以降3cmずつとする
女子	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	以降3cmずつとする				

〔棒高跳〕

区 分	①	②	③	④	
中学男子	1.80	2.00	2.20	2.30	以降10cmずつとする
一般男子	2.60	2.80	3.00	3.10	
一般女子	1.80	2.00	2.20	2.30	

8. 砲丸の重さは、次のとおりとする。

男子用	女子用	高校男子用	中学男子用	中学女子(小学)用
7.260Kg	4.000Kg	6.000Kg	5.000Kg	2.721Kg
9. 円盤の重さは、次のとおりとする。

男子用	女子用	高校男子用
2.000Kg	1.000Kg	1.75Kg
10. ハンマーの重さは、次のとおりとする。

男子用	女子用	高校男子用
7.260Kg	4.000Kg	6.000Kg
11. 選手は、スポーツマンらしい態度で競技にいどむこと。
12. 大会事務局からナンバーカードを割り当てられている選手はナンバーカードをつけなくてもよい。
 なお、点呼の際にプログラムに記載されているナンバーカードと氏名を競技者係に告げ、トラック競技に出場する選手は腰ゼッケンを受け取ること。フィールド競技に出場する選手は、審判にナンバーカードの番号を呼ばれたら試技にのぞむこと。【一般、管外の選手】
13. 一般の選手および他陸協からの参加者は、ナンバーカードをつけずに競技に参加すること。ただし、トラック競技においては、腰ゼッケンをつけること。